

平成29年度京都府がん検診受診率インターネット調査 の実施について（概要）

1. 目的

健康長寿日本一の実現のためには、疾病を早期に発見し、適切に治療することが重要であり、特に受診率の低いがん検診の向上が必要である。

そのため、がん検診の受診状況のデータを分析し、受診率向上対策の基礎資料とするとともに、その結果を公表することを目的とする。

2. 実施主体

京都府

3. 調査対象

性別、年齢階層別、地域別のセルごとに無作為抽出した京都府民（20歳以上の女性、40歳以上の男性、総サンプル数6,000人程度）を対象とする。

4. 調査日数

2週間程度

5. 調査方法

ネットリサーチ

6. 調査、集計、分析の実施機関

京都府健康対策課が調査の統括を行い、ネットリサーチについては、実施・集計・分析は専門機関に委託する。

7. 調査項目及びその客体

調査対象		調査項目
インターネット調査	6,000人	<ul style="list-style-type: none">○性、年齢階層、居住市町村○加入医療保険、職業○がん検診受診状況○がん検診受診きっかけ○がん検診未受診理由○がん検診に関する情報の入手手段、入手希望手段、必要内容○がんに対する認識○がん検診に関する要望○ピロリ菌に対する認識○がん治療や病院に関する情報の入手手段○がんの治療と就労の両立に関する認識

8. 調査に関する秘密の保持

被調査者に係る情報の取扱いについては、京都府統計調査条例を遵守してその秘密保持に万全を期すものとする。

平成29年度がん検診に関するアンケート(案)

Q 1 あなたの性別をお答えください。

1. 男性
2. 女性

Q 2 あなたの年齢（平成29年1月1日現在）をお答えください。

1. 19歳以下
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～69歳
7. 70歳以上

Q 3 あなたが、お住まいの市町村をお答えください。

1. 京都市
2. 向日市
3. 長岡京市
4. 大山崎町
5. 宇治市
6. 城陽市
7. 八幡市
8. 京田辺市
9. 久御山町
10. 井手町
11. 宇治田原町
12. 木津川市
13. 笠置町
14. 和束町
15. 精華町
16. 南山城村
17. 亀岡市
18. 南丹市
19. 京丹波町
20. 福知山市
21. 舞鶴市
22. 綾部市
23. 宮津市
24. 京丹後市
25. 伊根町
26. 与謝野町
27. その他

Q 4 あなたの加入している医療保険の種類を教えてください。

下記よりあてはまるものをお選びください。

※わからない方は、お手持ちの医療保険被保険者証をご覧の上、お答えください。

1. 国民健康保険
2. 協会けんぽ
(全国健康保険協会〇〇支部など。旧政府管掌健康保険)
3. 組合管掌健康保険
(「〇〇健康保険組合」など)
4. 共済組合
5. 船員保険
6. 日雇労働者健康保険
7. 後期高齢者医療制度
8. その他

Q5 あなたの現在の主たる職業は、どれにあたりますか。

最もあてはまるものをお選びください。

1. 勤め（全日）
2. 勤め（パートタイム）
3. 自営業、農業（家業を手伝うものを含む）
4. 専業主婦（主夫）
5. 学生
6. 無職
7. その他

Q6 昨年度、次のがん検診を受けましたか。また、受けた方はどこで受けましたか。

それぞれのがん検診の部位ごとに、あてはまるものを1つずつお答えください。

（乳がん、子宮がんの場合はこの2年間についてお答えください。）

※「昨年度」とは、平成28年4月1日から平成29年3月31日までをさします。

※「この2年間」とは、平成27年4月1日から平成29年3月31日までをさします。

	1 市 町 村	2 職 場	3 人 間 ド ック	4 商 工 会 ・ 農 協 等	5 そ の 他	6 同 医 療 機 関 の 検 査 を 受 診 し た と き に	7 受 け て い な い
(1) 胃がん検診（昨年度） ※「胃がん検診」とは、胃のエックス線撮影（バリウム）、胃カメラ、ペプシノゲン法（血液検査）などをいいます。							
(2) 肺がん検診（昨年度） ※「肺がん検診」とは、胸部エックス線撮影、気管支鏡検査などをいいます。							
(3) 大腸がん検診（昨年度） ※「大腸がん検診」とは、便の潜血検査、大腸のエックス線撮影、大腸の内視鏡検査などをいいます。							
(4) 乳がん検診（この2年間）							
(5) 子宮がん検診（この2年間） ※「子宮がん検診」とは、細胞診検査などをいいます。							

Q6 でがん検診を1つでも「受けた」と回答した方にお伺いします。

Q7 がん検診を受けたきっかけを教えてください。

下記よりあてはまるものをお選びください。

1. 検診の対象の年齢だから
2. 気になる症状があったから
3. 無料クーポン券が届いたから
4. 職場の検診にあったから
5. 検診のお知らせが来たから
6. 検診の場所が身近にあったから
7. 家族・友人等から勧められたから
8. 夜間や休日に受診できたから
9. 行政の広報誌（府民だより、市民しんぶん など）を見て
10. その他

Q6 でがん検診を1つでも「受けていない」と回答した方にお伺いします。

Q8 がん検診を受けなかったのは主にどのような理由からですか。

あてはまるものを全てお答えください。

1. 検診日と日程があわなかったから
2. 受ける時間がなかったから
3. 健康に自信があるから
4. 検査の方法に抵抗があるから
5. 悪いと言われるのが怖いから
6. 検診の場所が身近にないから
7. 日時・場所・申込方法を知らないから
8. かかりつけ医がいるので受ける必要がないから
9. 受けるつもりだったが忘れていた
10. 関心がないから
11. 面倒であるから
12. 費用がかかるから
13. その他（記入欄あり）

Q9 がん検診の受診方法（受診の意義、受診の場所や日時、申込方法など）の情報は、どのように入手していますか。

あてはまるものを全てお答えください。

1. 行政からの個別通知（あなた宛の郵便物）
2. 行政の広報誌（府民だより、市民しんぶん など）
3. 医療機関からのお知らせ、通知 等
4. 新聞、雑誌、ラジオなどのメディア
5. インターネット
6. 職場での回覧物、通知 等
7. 知人からのクチコミ
8. その他（記入欄あり）
9. 入手方法を知らない
10. 特に入手していない

Q 1 0 がん検診の受診方法（受診の意義、受診の場所や日時、申込方法など）の情報について、今後どのように入手したいと思いますか。

あてはまるものを全てお答えください。

1. 行政からの個別通知（あなた宛の郵便物）
2. 行政の広報誌（府民だより、市民しんぶん など）
3. 医療機関からのお知らせ、通知 等
4. 新聞、雑誌、ラジオなどのメディア
5. インターネット
6. 職場での回覧物、通知 等
7. 知人からのクチコミ
8. その他（記入欄あり）
9. 特に入手したいとは思わない

Q 1 1 がん検診を受診するために詳しく知りたい（不足している）情報は何ですか

あてはまるものを全てお答えください。

- 1 検査場所
- 2 検査日程
- 3 検査費用
- 4 申込方法
- 5 検査方法
- 6 所要時間
- 7 その他（記入欄あり）
- 8 特になし

Q 1 2 がんに対する認識についてお答えください。

	知っている	知らない
(1) 日本人は一生のうち、2人に1人が、がんにかかっている		
(2) 日本人の3人に1人はがんで亡くなっている		
(3) がんは早期発見すれば治る可能性が高い		
(4) 早期のがんは自覚症状がないことが多い		
(5) 市町村では胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がんの5つのがん検診を実施している		
(6) 市町村のがん検診は、40歳以上（子宮がん検診は20歳以上、胃がんは50歳以上※）であれば、だれでも受診できる ※ただし当分の間、40歳以上に対して胃部X線検査実施可能。		
(7) 早期発見のためには、がん検診は女性特有のがんと胃がん※については2年に1回、その他の		

がんについては毎年受診 ※当分の間、胃部エックス線検査については毎年実施可能。		
(8) 市町村のがん検診が無料になるクーポン券が乳がんは40歳、子宮頸がんは20歳の方へ送付されている		
(9) 乳がんの自己検診方法		
(10) 子宮頸がんが20・30歳代に増加している		
(11) 子宮頸がんの原因はウイルスの感染である		
(12) 予防接種を受けていれば、子宮頸がん検診は受けなくてもよい		

Q13 がんという病気に対して、どのようなイメージを持っていますか。

あてはまるものを全てお答えください。

1. 怖い病気
2. 早期に発見すれば治る病気
3. 予防ができる病気
4. 生活習慣が1つの原因として考えられる病気
5. 老化とともになりやすくなる病気
6. 手術が必要な病気
7. 痛い病気
8. 治らない病気
9. 突然なってしまう病気
10. 遺伝する病気

Q14 がん検診に関する行政機関や関係機関への要望は何ですか

あてはまるものを全てお答えください。

1. がん検診の有効性や必要性に関するPRの強化
2. がん検診を実施している医療機関や検診機関の情報提供
3. すべてのがん検診を集団検診（検診バス）で一度に受けられるようにしてほしい
4. 休日の検診を実施してほしい
5. 夜間の検診を実施してほしい
6. 職場検診でがん検診を実施してほしい
7. どの医療機関でも自由に受けられるようにしてほしい
8. その他（記入欄あり）
9. 特になし

Q15 ピロリ菌やピロリ菌検査についてお伺いします。

(1) ピロリ菌に対する認識をお答えください。

1. ほとんどの胃・十二指腸潰瘍の原因となる菌であると知っている
2. 名前は聞いたことがある
3. 全く知らない

(2) ピロリ菌に感染しているかどうかの検査を受けたことがありますか。

(ピロリ菌検査は、①胃カメラを用い、直接胃粘膜を採取し調べる方法 ②血液や息、便から間接的に有無を調べる方法があります。)

- 1 受けたことがある
- 2 受けたことがない
- 3 分からない

(2)で「1 受けたことがある」と回答した方にお伺いします。

(3)検査を受けたきっかけはどのような理由ですか。(複数回答可)

- 1 テレビ等で知ったから
- 2 職場での定期健康診断や人間ドックの項目にあったから
- 3 その他(記入欄あり)
- 4 特に理由なし(なんとなく)

(4) ピロリ菌について、がん検診(一般的に0円~2000円程度の自己負担があります)と同じように、行政施策として実施すべきと思いますか。

- 1 実施することが必要である。
- 2 実施する必要はない
- 3 どちらともいえない

(5) ピロリ菌早期発見の為の検査が学校であれば、子どもに受けさせたいですか。

(ピロリ菌は幼少期に感染し、一度感染すると多くの場合除菌しない限り、ずっと感染し続けます)

- 1 受けさせたい
- 2 受けさせたくない
- 3 どちらともいえない
- 4 中学生から高校生のこどもがいない

Q16 がんの治療法や病院などについての情報源について伺います。

(1) 自身が「がん」と診断された場合、がんの治療法や病院についての情報をどこで入手しようと思いますか(回答複数可)

- 1 病院・診療所の医師、看護師や相談窓口
- 2 行政の担当窓口(府・市町村の保健所、保健センター)
- 3 家族
- 4 友人・知人
- 5 会社
- 6 インターネット
- 7 テレビ・ラジオ
- 8 雑誌・書籍

(2) 京都府が設置するがん総合相談支援センター、各がん診療連携拠点病院のがん相談支援センターで誰でもがんに係る相談ができることを知っていますか。

- 1 知っている
- 2 知らない

Q 17 **がんの治療と仕事の両立についてお伺いします。**

(1) がんの治療と仕事の両立に対する認識をお答えください。

- 1 がんと診断されると、仕事を辞めて、治療しなければならない。
- 2 多くのがんでは入院せず仕事を続けながら治療を行うこともできる。

(2) がんの治療や検査のため、医療機関に通院する必要がある場合、働き続けることを難しくすると想定される要因は何ですか（複数回答可）

- 1 会社の理解が得られない
- 2 仕事を休むと人事評価が下がる
- 3 職場の同僚の理解・協力が得られない
- 4 体力的に困難
- 5 精神的に困難
- 6 休むと収入が減ってしまう
- 7 仕事を替わってもらえる人がいない
- 8 取引先の理解が得られない

(3) がんの治療と仕事を両立するために必要であると思われることは何でしょうか。（複数回答可）

- 1 仕事を継続していくための勤務制度（業務内容・勤務地などの配慮）
- 2 がんに対する職場の理解
- 3 企業内で相談しやすい相談窓口の設置
- 4 離職防止のための啓発
- 5 がんに対する正しい知識の普及啓発
- 6 企業・医療機関・行政などの連携
- 7 働きながら通院することについて医療機関の配慮
- 8 病院内で相談しやすい相談窓口の設置